
我が国の 医療費膨張と病人増加事由 の究明と対策について

雑賀慶二^{1,2)}

- 1) 東京農業大学
- 2) 東洋ライス株式会社

日本食生活学会COI 開示

発表者名 雑賀慶二^{1, 2)}

所属 1) 東京農業大学 2) 東洋ライス株式会社

演題発表に関連し、開示すべき COI 関係にある 企業等
なし

我が国の医療費は年々増加し、平成29年には43兆円を超えた。

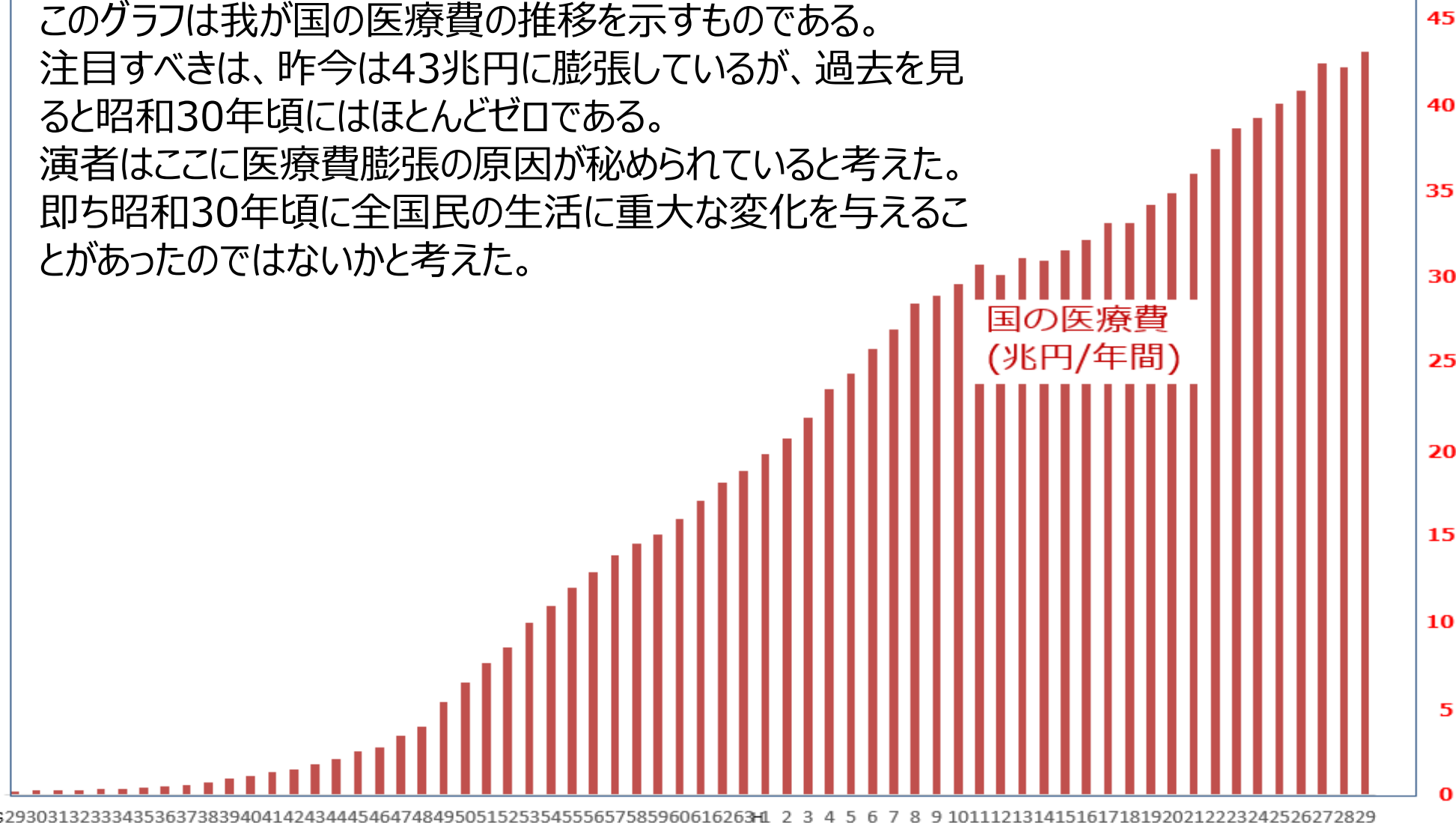
これはそれだけ病人が増えていることであり、このままでは国の財政が破綻する。

しかしながら、これまで病人が増大した原因解明及び対策は寡聞にして知らない。

そこでかねてより、病人増加原因の究明と対策について演者が研究した結果を発表する。

医療費の推移

このグラフは我が国の医療費の推移を示すものである。
注目すべきは、昨今は43兆円に膨張しているが、過去を見ると昭和30年頃にはほとんどゼロである。
演者はここに医療費膨張の原因が秘められていると考えた。
即ち昭和30年頃に全国民の生活に重大な変化を与えることがあったのではないかと考えた。



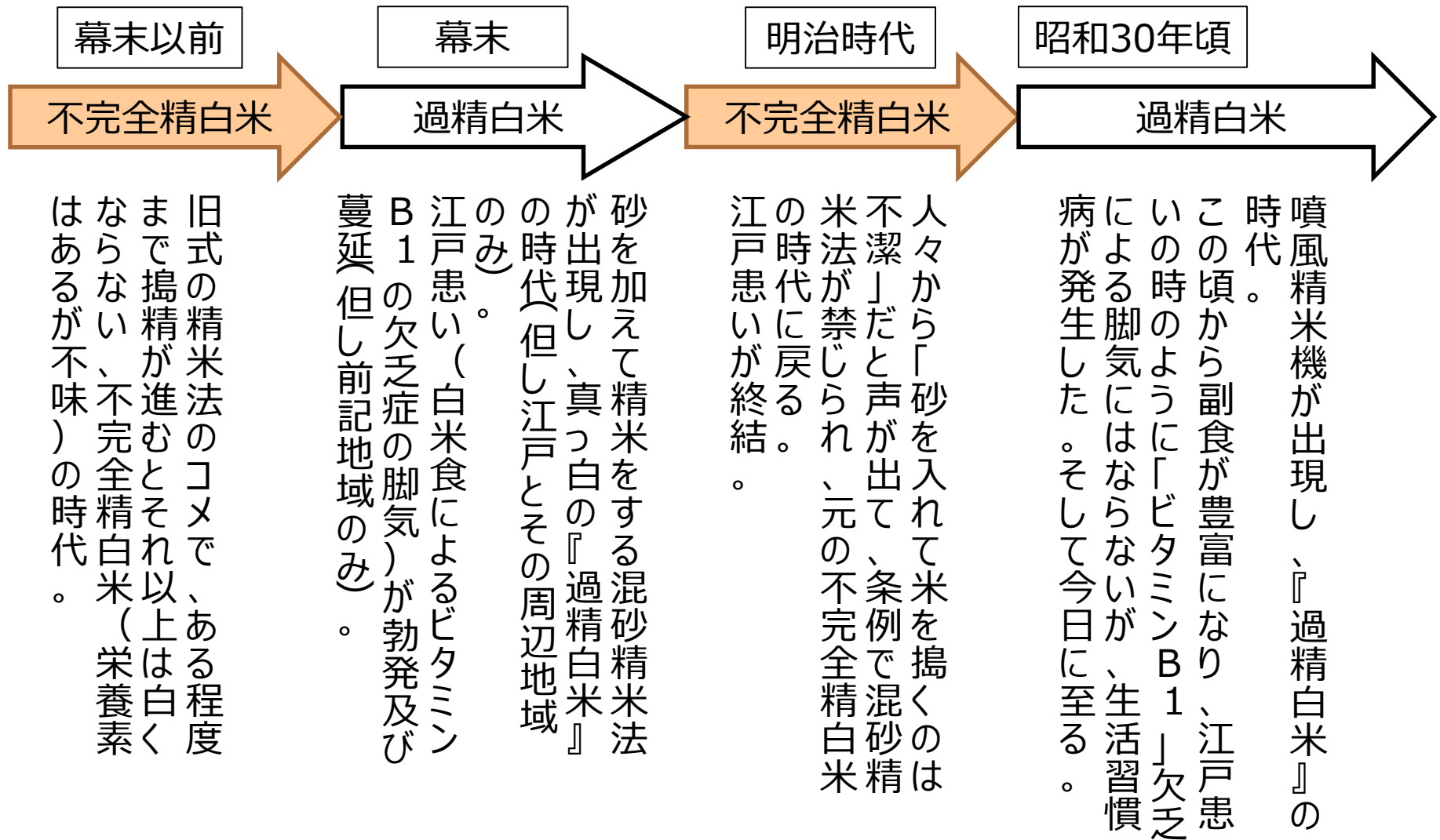
昭和30年頃から変化が起きたこと

- ①自動車の普及によって人々を運動不足にした。
- ②『噴風精米法』という新しい精米機が出現し、『不完全精白米』から真っ白な『過精白米』が普及し、不健康な主食に変わった。

演者は①よりも②が影響が大きいと考えた。それは昔も同じことがあったからである。

そこで、幕末の江戸に起きた『江戸患い(白米病)』の再現ではないかと仮説を立てた。

主食の推移



検証 1

以上の仮説をたてた演者は、その当否を確かめるために次の検証を行った。

【検証方法】

昔から多数の病持ちの演者自らが、旧来の不完全精白米を食べ始めたが、白米に慣れた口が受け付けなかった。

そこで、玄米の深層糠である『亜糊粉層』を残した美味で環境にもよい白米を発明(特許第4708059号)し、その実施品(以降、『亜糊粉層残存米』と言う)を平成19年頃より常食し、他に何も変える事なく結果をみることにした。

検証結果 1

実験していることを忘れた頃の1~2年後に、演者の糖尿病を含む多くの病が治癒していた。それによって、仮説が正しかった事が明らかになった。

平成19年の検査結果(実験前)

和歌48-37-W8 検査No. 和田胃腸科・内科様18166
サイカ ケイシ 様 男性 73才 完
因 900 因 324①③④

3388 05-12 採05/12 AM

検査項目	測定値	基準値
IRI / 血糖30	0.30	0.3以上
◆IRI負荷試験◆		
インスリン 前	2 μ U/ml	2~11 01
インスリン 30分	28 μ U/ml	01
◆尿糖負荷試験◆		
尿糖 前	7 mg/dL	20以下
尿糖 後 30分	18 mg/dL	20以下
尿糖 後 60分	512 mg/dL	20以下
尿糖 後 90分	171 mg/dL	20以下
尿糖 後120分	18 mg/dL	20以下

血糖	mg/dL70~110	前	30分	60分	90分	120分	150分	180分
糖		96	182	181	127	108		



平成29年の検査結果(実験後)

和歌山W3 324837 和田胃腸科・内科 受付 2017年03月01日
サイカ ケイシ 様 男性 83才 13790

3388 採取 2017年03月01日 AM

検査項目	測定値	基準値
血糖 前	102 9.3 mg/dL	70~110
血糖 後 30分	149 mg/dL	
血糖 後 60分	115 mg/dL	
血糖 後120分	102 mg/dL	
HbA1c (NGSP)	5.8 %	4.6~6.2
PSA前立腺特異抗原	0.54 ng/mL	4.00以下
尿糖 前	4 mg/dL	20以下
尿糖 後 30分	17 mg/dL	20以下
尿糖 後 60分	25 mg/dL	20以下
尿糖 後120分	13 mg/dL	20以下

更に新たな発見として、病弱の演者は、自らを健康体にしたくて、昔から多種多様の副食と総合栄養剤にて栄養不足をきたさぬ様にしていたのに、何ら改善出来なかったのが、『亜糊粉層残存米』の常食によって、多くの病が治癒したことから、『亜糊粉層残存米』には『糠層（亜糊粉層）』にしか含有しない未知の栄養素』があることが判明した。

検証結果 2

さらには、演者が健康体になったことから、演者と関係する東洋ライス社の職員達が『亜糊粉層残存米』の常食を行っていると、公の医療費調査機関が、東洋ライス社の職員及びその家族の「事業所カルテ」によって、それらの月平均医療費は全国平均、和歌山県平均、同業者平均と比較し約4割低い結果が示され、『亜糊粉層残存米』の常食によって、医療費が低減されることが一層確認できた。

更には、今日の日本人の大半が病んでいる病は、その『糠層にしか含有しない未知の栄養素の欠乏症』であることが確認できた。

東洋ライス 株式会社 様 事業所カルテ

加入者1人当たりの月平均医療費の比較 (0歳～74歳)

		27年度	389名	28年度	378名
	医療費	単位：(円)			
		入院医療費	入院外医療費	歯科医療費	
全国平均 (27年度)		14,202	4,038	8,596	1,568
和歌山県 (27年度)		14,093	3,777	8,769	1,547
同業者平均 和歌山県 (28年度)		14,198	4,339	8,259	1,600
御社	27年度	9,266	1,628	6,108	1,531
	28年度	10,009	2,307	6,282	1,420

御社の 28年度 総医療費 45,380,910円 (入院 10,458,760円 / 入院外 28,484,330円 / 歯科 6,437,820円)

被保険者1人当たりの月平均医療費の比較 (0歳～74歳)

		27年度	154名	28年度	155名
	医療費	単位：(円)			
		入院医療費	入院外医療費	歯科医療費	
全国平均 (27年度)		13,909	3,769	8,462	1,678
和歌山県 (27年度)		14,124	3,568	8,881	1,675
同業者平均 和歌山県 (28年度)		13,911	3,744	8,412	1,755
御社	27年度	8,269	1,555	5,196	1,518
	28年度	9,340	2,836	5,261	1,243

御社の 28年度 総医療費 17,362,610円 (入院 5,272,870円 / 入院外 9,779,400円 / 歯科 2,310,340円)

平成29年12月11日作成

事業所カルテは、本企業において積極的に従業員の健康づくりに取り組んでいただいている現状を誇りに思っています。また、そのための対策や目標を設定するための参考としていただくための資料ツールであることから、提供したデータ等のご利用は責任においていただきますようお願いいたします。

まとめ

- 亜糊粉層残存米の常食によって、多くの病が治癒したということは、『糠層（亜糊粉層）にしか含有しない未知の栄養素』があることが確認できた。
- 今日の日本人の大半が病んでいる病は、その『糠層にしか含有しない未知の栄養素の欠乏症』であること、すなわち第二の『白米病』であることが確認できた。
- 『亜糊粉層残存米』は、従来の不完全精白米と異なり、白米より美味なことから全国民が常食することは可能である。
- 従って『亜糊粉層残存米』を常食することにより我が国の病人を減らし、医療費の削減が期待できる。
- しかしながら、この段階ではn数が少ないので、n数を増やした結果を次の演者によって発表する。

ご清聴ありがとうございました